

2012年9月20日

郵便局株式会社 東北支社

オリジナル フレーム切手

「第100回南陽の菊まつり」の販売開始と贈呈式の開催について

郵便局株式会社 東北支社（宮城県仙台市青葉区、支社長 和田 浩司）は、下記のとおり、オリジナル フレーム切手の販売を開始します。

このオリジナル フレーム切手は、大正元年（1912年）に宮内の料亭が人形師に頼み、菊の花の衣装を飾った人形を展示したのが始まりです。翌、大正2年には菊の品評会が開催され、今年で第100回目を迎えることを記念して『南陽の菊まつり』のフレーム切手を販売します。

また、本フレーム切手の販売を記念して贈呈式を開催します。

記

1 切手の概要

名称	第100回南陽の菊まつり
販売開始日	2012年10月1日（月）
販売部数	1,000部（予定）
販売郵便局	山形県南陽市、米沢市、長井市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町内の郵便局（61局） ※簡易郵便局は除きます
シート構成	1シート 80円切手×10枚
販売単位	シート単位で販売します。
販売価格	1シート 1,200円

2 切手デザイン
別添のとおり

3 贈呈式の内容

実施日時	2012年10月1日（月）9:00～9:20
場所	南陽市役所
受贈者等	受贈者：南陽市長 塩田 秀雄（しおた ひでお）様 贈呈者：長井糸町郵便局長 大場 毅（おおば たけし）

4 その他

本オリジナル フレーム切手は、通信販売を行いません。販売郵便局の窓口でお買い求めください。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社東北支社企画部（広報担当）
電話：（直通）022-267-7354

【お客さまのお問い合わせ先】

〔商品内容に関すること〕
郵便局株式会社東北支社営業本部（郵便担当）
電話：（直通）022-267-7666
〔販売に関すること〕上記に記載の「販売郵便局」窓口

【参考】

南陽の菊づくりの歴史は古く、江戸時代にまでさかのぼり、嘉永2年（1849年）赤湯で入浴中だった米沢藩の上杉の殿様を楽しませるために百花園の斎藤善四郎氏が丹精した菊の花を献上しました。その見事な菊の花には殿様は大変喜ばれ、褒美を受けたという記録が残っています。



【切手選定理由】

南陽市役所様からこれまでの南陽の菊まつりの昔から今を受け継がれた伝統の技による菊人形などをご協力いただきました。また、毎年菊人形は大河ドラマをテーマに開催されています。